

# 通常総会議案

## 第1号議案

### 令和4年度事業報告書

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

#### I 会員の状況

##### (1) 会員の増減

(令和5年3月31日現在)

	R4.4.1 現在会員	令和4年度		令和4年度区分変更者		R5.3.31 現在会員	前年差
		入会者数	退会者数	増	減		
開業	344	10	11	6	4	345	+1
勤務等	206	13	13	4	6	204	-2
計	550	23	24	10	10	549	-1

##### (2) 支部別会員数

(令和5年3月31日現在)

支部	岡山	倉敷	津山	計
開業	215 (69)	109 (37)	21 (6)	345 (112)
勤務等	132 (63)	61 (27)	11 (3)	204 (93)
計	347 (132)	170 (64)	32 (9)	549 (205)
%	63.3	30.9	5.8	

( ) 内は、女性を再掲

##### (3) 開業年数別会員数

(令和5年3月31日現在)

年数	1年未満	1年以上~3年未満	3年以上~5年未満	5年以上~10年未満	10年以上	計
人数	11 (3.2)	22 (6.4)	26 (7.5)	65 (18.9)	221 (64.0)	345(100.0)

( ) 内は、開業数に対する%

## Ⅱ 令和4年度重点事業の実施状況

### 【連合会の方針に基づく事業】

#### 1. 事業環境の急激な変化と新たな局面に対応した社会保険労務士業務の推進に関する事業

##### (1) 業務拡大に関する事業

社会福祉法人を対象とした、働き方改革セミナーや個別相談会を実施し、働き方改革を推進するとともに、労働条件審査事業普及促進への基盤づくりを行った。

#### 2. 事業環境の変化に適合できる専門能力向上に関する事業

##### (1) 社会保険労務士の職業倫理・品位保持の徹底

前年度に引き続き、令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、連合会eラーニングによる倫理研修が実施された。(令和5年2月～3月)

##### (2) 研修に関する事業

###### (ア) 新規入会会員研修

- ・令和4年度新規入会会員研修

日時：令和5年1月14日(土) 10:00～16:30 サン・ピーチOKAYAMA

講師：会長、各部長、ADRセンター、SR経営労務センター、社労士成年後見センター岡山、東京海上日動火災保険(株) 広域法人部 など

- ・新規入会会員研修(入会3年以内の会員対象)

3研修：「社会保険実務」「労働保険実務」「事務所開設と運営」

###### (イ) 社会の変化に対応したテーマによる研修の実施

「電子申請フェア」、「人間力向上研修」、「改正育児・介護休業法への対応研修」、「顧問先からの労務相談への対応方法と紛争となった場合の解決方法」、「社労士が知っておきたいWord&Excelテクニック」「算定基礎研修」などの専門実務研修のほか、安全管理研修などを実施した。

#### 3. 社会保険労務士の社会的使命の実現と社会貢献に関する事業

##### (1) 「社労士会労働紛争解決センター岡山」の運営

###### (ア) ADR研修

あっせん委員、運営委員、総合労働相談所相談員を対象に3回実施

第1回「解雇以外の労働契約終了」ほか(令和4年11月19日)生涯学習センター

講師：弁護士 妹尾 直人氏・弁護士 坂本 純平氏

第2回「ロールプレイング」(令和5年1月14日)岡山商工会議所

第3回「相談内容の傾向、最近のテーマ(パワハラ、副業・兼業など)」(令和5年2月25日)岡山県立図書館

※総合労働相談員研修と共催

講師：県会会員 麓 一茂先生

###### (イ) あっせん件数

区分	受理件数	受理事件の取扱内容			
		和解成立	和解不調	申立取下	不応諾
令和4年度	5	0	1	0	2
開設以来累計	51	28	5	1	15
全国累計(速報値)	1296	490	163	61	549

##### (2) 学校向け出前授業の実施

中学校26回 高等学校1回 その他2回 計29回(内有料19回)

主な講座：「職場体験学習の前に知っておきたいこと」「働くときの基礎知識」「働くことについて考えてみよう」「職場のマナー」

##### (3) 労働条件審査の実施

入札に係る応札事業者の労働条件審査依頼があり審査を実施した。

倉敷市役所：母子生活支援施設「倉敷市鶴心寮」指定管理者選定に伴う審査 1事業者

(4) 治療と職業生活の両立支援

がんなどの病気と闘いながら職業生活を送る方々の支援を行うため、病院との連携による相談会を開催した。岡山大学病院及び岡山医療センターでの出張相談：20件

#### 4. 広報に関する事業

(1) 社労士月間 中小企業支援セミナー・個別相談会

テーマ：5W1Hでポイント解説「社会保険適用拡大×人財戦略」

日時・場所：令和4年10月31日(月) 13:30～16:40 岡山商工会議所

講師：県会会員 森脇 昌子先生

共催：一般社団法人岡山県商工会議所連合会

後援：県内報道各社

(2) 社労士月間無料相談会（令和4年10月15日、22日）計34件

年金相談（岡山支部） 天満屋ハピータウン原尾島店・岡南店（計26件）

年金労働相談（倉敷支部） ウイズアップくらしき、S-スタ（計8件）

#### 【岡山県社会保険労務士会としての事業】

##### 1. 電子化推進

電子化推進委員会が運営する「電子化推進お助け隊」において、会員がe-Gov電子申請やGビズID電子申請を円滑に行えるようアドバイスを行うなど、会員の電子化推進を促進した。

##### 2. 会議・事業・事務局業務の効率化

メールフォームを活用した研修等への参加申込、web会議ツールを活用した会議や研修の開催など、会議・事業・事務局業務の効率化を推進した。

##### 3. 行政機関及び他士業等との情報交流および連携強化

(1) 県内自治体からの要請による相談対応

①岡山市からの要請により、新型コロナウイルス感染症対応として、企業社会保険・労務管理相談に関する窓口相談、事業所訪問相談などへ相談員をのべ48人派遣した。

②岡山県からの要請により、事業所が高年齢者の就業確保措置を推進するための相談に対応した。

(2) 他士業等との連携強化

①10士業合同無料相談会

日時・会場：令和5年1月17日(火) 倉敷市役所、18日(水) 津山市役所、20日(金) 岡山市役所  
各会場とも9:30～16:00 相談計9件

②弁護士会との合同勉強会

日時・開催方式：令和5年1月30日(月) 16:00～18:00 オンライン開催

③一般社団法人岡山県損害保険代理業協会との覚書締結一周年セミナー

日時・会場：令和5年1月20日(金) 13:30～15:00 ピュアリティまきび・オンライン

なお、例年開催される「士業連携フォーラム」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

#### 4 中国・四国地域協議会との連携強化

「令和4年度中国・四国地域協議会社会保険労務士研修会」（開催当番県）

日時：令和5年3月17日(金) 14:00～17:00、18日(土) 9:30～15:30

会場：おかやま未来ホール

〈研修〉講師：全国社会保険労務士会連合会 会長 大野 実先生

テーマ：社会保険労務士制度の将来展望について～新年度の事業計画を手がかりに～

〈講演〉講師：弁護士法人ALG&Associates 代表執行役員 弁護士 片山 雅也 先生

テーマ：実例で学ぶ 企業におけるトラブル対応・回避の実務

～パワハラ対応の実務、労働契約終了時のトラブル回避の実務、

長時間労働削減の実務、同一労働同一賃金への対応実務～

Ⅲ. 各部事業実施報告

執行機関	重点事業	実施結果
総務部	1. 県会事業運営	<p><b>理事会・総会運営</b> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度同様、規模を縮小し、進行を簡略化して行なった。</p> <p><b>中国四国地域協議会協力</b> 令和4年3月17～18日、おかやま未来ホールにて地域研修会を開催した。全国社会保険労務士会連合会大野会長による講演、片山雅也弁護士（東京弁護士会所属）による研修「実例で学ぶ 企業におけるトラブル対応と回避の実務」をテーマとし、109名が受講した。</p>
	2. 規程の見直し	<p>次の規程について、一部の見直しを行ない、令和4年9月24日の理事会にて承認を得、11月号会報に掲載した。 ・会費減免規程運用細則・総会運営細則・役員選出基準細則・役員選出規程 また褒章規程についても一部の見直しを行ない、令和5年2月18日の理事会にて承認を得、3月号会報に掲載した。褒章規程は褒彰規程に改めた。</p>
	3. 財務	<p><b>会費徴収方法等の検討</b> ゆうちょ銀行の振込手数料加算による振込額のミスの防止を図るため、早くから会報等で周知を行なったため、心配されたミス・トラブルは起こっていない。また中国銀行口座も振込先に加えたため、利便性が図られたとの声もあがった。</p> <p><b>財務状況の健全性</b> 定期的な財務状況の検討を行なった。 督促に応じない会費滞納者を会報に掲載した結果、即支払いにつながった。</p>
	4. 会報	各部からの情報の取り入れに加え、会員への注意喚起を目的とした文書の掲載をした。
	5. 会員交流	新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、会員交流の計画・実施はされていない。
研修部	1. 一般会員研修の充実	<p>ウィズコロナになりつつあり、集合研修が増えてきたが、内容等に応じてオンライン研修も引き続き実施した。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの影響により開催が延期となった「電子申請フェア」や「社労士のための顧客対応マナー・コミュニケーションスキル」からスタートし、社労士としての専門性に焦点をあてた研修が多かった。</p> <p><b>「電子申請フェア」(会場+WEB開催)(4/20)</b> 業務ソフト会社6社によるプレゼンテーション及び各ブースでの個別相談を実施し、電子申請の推進と業務の効率化の検討の場を設けた。</p> <p><b>「社労士向け 人間力向上研修」(集合研修)(5/19)</b> 法律家としてふさわしいマナーを身に付け、スムーズにコミュニケーションをとるためのスキルを学んだ。</p> <p><b>「改正育児・介護休業法研修」(集合研修)(6/16)</b> 育児・介護休業法の改正に伴い、押さえておくべき改正点をポイントにして学んだ。</p> <p><b>「安全管理研修」(WEB研修)(10/18)</b> 健康経営推進のサポート力研鑽を目的とし、健康診断をテーマに、健康診断の見方と対応について学んだ。</p> <p><b>「実務研修」(集合研修)(11/2)</b> 顧問先からの労務相談への対応方法と、紛争になった場合の解決方法について学んだ。</p> <p><b>「社労士が知っておきたい Word&amp;Excel テクニック研修」(集合研修)(11/12)</b> 社労士としての業務効率化を目的とし、Word・Excelの効果的な使用方法について学んだ。</p> <p><b>「専門実務研修」(集合研修)(2/8)</b> 複雑化する算定基礎届について、押さえるべきポイントとイレギュラー対応について、中・上級編として学んだ。</p> <p><b>「民法研修」(WEB研修)(3/23)</b> 成年後見に係わる民法についての研修と併せて、担当者によるパネルディスカッションを実施した。</p>
	2. 新規入会会員研修	<p><b>「労働保険実務研修」(集合研修)(5/21)</b> 労働関係・労働保険に関する実務の基礎について学んだ。</p> <p><b>「社会保険実務研修」(集合研修)(6/18)</b> 社会保険に関する実務の基礎と届出関係について学んだ。</p> <p><b>「事務所運営」(集合研修)(7/29)</b> 先輩社労士より事務所の運営について事例を交えて学んだ。</p> <p><b>「新規会員研修」(集合研修)(1/14)</b> 各部やPT等による県会組織に関連した研修を開催した。また、感染対策を十分に行った上で、3年ぶりに互礼会も開催した。</p>

執行機関	重点事業	実施結果
研修部	3. 自主研究会の活性化	自主研修会への助成金を2研究会に各3万円支給した。
	4. 必須研修	本年度も連合会主催により、倫理研修を2月1日～3月31日の間にWEB研修の形で実施した。
事業部	1. 行政協力業務の推進	年金事務所における年金相談窓口の委託契約に基づき、年金事務所と意志疎通を図りながら業務を実施した。 年金事務所の相談窓口担当者に対して、継続研修を実施し、社労士会連合会の研修資料等も利用して、相談員としてより実践的な研修を行い、担当者の更なる能力の向上を図っていった。更に年金事務センター・各年金事務所の組織変更に対応できるよう窓口担当に入ってもらい新人社労士の要員の養成を度々座学研修を計画実施したが実らなかった。また、出張相談についても、各年金事務所との連携をとりながら実施した。
	2. 年金・労働相談所業務の運営	令和4年度の相談員体制は、年金相談員12名、労働相談員15名である。 年金相談は、月2回の開催ながら街角の年金相談センターとも連携を行い相談会を実施した。また相談員の研修については、実践研修を中心に、事例研究、マナースタンダード、法律改正などの必須研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために事例研究が延期になった。 労働相談は、県会にて毎水・金曜日に開催し、岡山・倉敷両市役所にて月1回（第4水・木曜日）、ゆうあいセンター岡山で月1回（第3日曜日）開催した。 ADRセンター岡山との更なる連携体制をとりながら、実践的な研修を行った。 また、年1回実施している必須研修についても担当者の希望に沿ったものになるようアンケート等で把握した。 無料相談会を市政だよりや新聞紙面等の広報活動を通して、一般市民への利用を呼びかけていった。
	3. 学校出前授業の実施	今年度は講師12人体制で出前講座チームを組織した。 オミクロン株による感染拡大は10代に特に顕著であり、規模の大きな学校ほど、密を避けるために学年集会を行わないといった対応をとっていた。そのため、前々年比2割減だった前年度に比べてさらに2割の実施件数減となった。前々年度に引き続き倉敷市労働政策課に予算を付けていただき、倉敷市中学校7校に出前授業を行った。 運営面では、前年度に引き続き、担当決めや情報共有のためにチャットワークを利用した。講師各人の適性を活かしながら、魅力ある授業が行えるように、講師間の情報交換やプレゼンテーション、授業内容の検討を行いながら、更なるレベルアップを図った。
	4. 治療と仕事の両立支援	従来のがんチームが中心となって、岡山大学病院にて月2回の出張相談を充実させるだけでなく、岡山医療センターで試験的に月2回出張相談を行った。 また、県下の13のがん診療連携拠点病院等の広報活動を実施した。岡山県保健福祉部医療推進課とも連携しながら事業主団体に対して年間5回程度の「がんと就労」「治療と仕事の両立支援」についての理解・広報活動をセミナー講師を中心に展開する予定だったが、コロナ禍により中止・延期に追い込まれた。
	5. 労働条件審査・企業主導型保育施設監査員	事業部は、倉敷市の指定管理者について労働条件の審査だけではなく、社労士個人及び岡山県社労士会の長期的展望を視野に入れ、倉敷市の社会福祉関係事業にも同様の労働条件審査の必要性を訴えていった。 また、企業主導型保育施設への労務監査は、連合会の方針により、これまで実施していない県での実施が優先されたため、今年度はいったん休止された。

執行機関	重点事業	実施結果
広報部	1. 継続した広報活動の推進	1. 社労士制度を効果的に県民に周知するため、社労士会の取り組みを紹介する各種ポスター、チラシ等を活用して多方面へ広報活動を継続して行った。 2. 会員社労士の協賛を得て山陽新聞への広告を行い、社労士の活用促進及び社労士会の活動やイベント案内をして社労士の社会的地位の向上を図った。 3. 有効な各種媒体を通じて、社労士制度、社労士業務及びイベントのPRを行い、社労士の認知度アップを図った。
	2. 社労士業務PR事業の実施	1. 岡山県商工会議所連合会との共催により、ウェブ中継及び会場参加で「中小企業支援セミナー」を開催した。また、中小企業支援セミナーおよび県会の活動を県下の多数の団体経由で広く県民に周知した。 2. 無料年金・労働相談会を以下のとおり開催した。 岡山支部 10月22日 倉敷支部 10月15日
	3. 他士業等との連携強化	1. 令和4年度は土地家屋調査士会が当番会として、士業連携フォーラム等他士業との交流が企画されたが新型コロナウイルス感染症予防のため中止とされた。次年度は税理士会が当番会となる。 2. 10士業合同相談会を倉敷(1月17日)、津山(同18日)および岡山(20日)で開催した。 3. 弁護士会との合同勉強会を1月30日に開催した。 4. 一般社団法人岡山県損害保険代理業協会と連携一周を記念し、社会保険関係法改正の研修を1月20日に行った。
	4. 県会ホームページの運用管理	県会ホームページの有効な運用に努めた。
統括プロジェクト部	1. 各プロジェクトチームの統括	岡山県より高齢者雇用確保事業を受託し、相談員7名で対応を行った。
	2. 各種入札事業への参加	令和4年度は社労士会が行うべき案件がなかったため活動はしていない。